

2023年度 大学院一般入試第2回 出題の意図

国際言語文化研究科 修士課程

科目	出題の意図
専門科目 アジア言語文化	当該試験は、①史料読解問題、②用語説明、③論述問題の3つで構成される。①は日本史学を研究する上で基本かつ重要な材料である史料を正確に読解し、内容を的確に理解できているか、②は日本史学研究に必要な基本的かつ重要な用語の知識を持っているか、③は時代や地域を横断して、そのテーマについての的確な文章で論理的に解説できるか、を判断するためにそれぞれ出題した。
日本語	問1から問6は、書き言葉の日本語で書かれた実際の文章を読んで問いに答える問題である。読解問題として、文章の流れや内容が理解できているか、また理解した内容を日本語で決められた字数にまとめて書いているか等を見る。また、漢字の読み、文法、文脈に合った語彙の選択等の問題も含まれる。問7では、文章に関連したテーマで、指示にしたがって自分の考えをまとまりのある文章で書けるかどうかを把握するものである。

2024年度 大学院一般入試第2回 出題の意図

理工学研究科 博士前期課程 生産開発工学専攻

科目	出題の意図
専門科目 機械工学系	機械工学－1（問3）：理想気体の変化関係式をもとに熱機関（カルノーサイクル）の理論熱効率を導出する問題。 機械工学－2：浮力と圧力を問う問題。
専門科目 力学	学部低学年時に学習する質点系の力学及び剛体の力学の習熟度を確認する問題である。 前半はおもりを質点とみなした振り子の運動を微分方程式を用いて解析させる問題である。後半は剛体の運動の扱い方の理解度を確認するため、剛体棒の振り子運動を解析する問題になっている。